令和７年度　長崎県中学校柔道競技新人大会実施要項

１　主　　催　長崎県中学校体育連盟　　長崎県教育委員会　　長崎県柔道協会

２　主　　管　長崎県中学校体育連盟柔道競技専門部

３　日　　時　令和７年１０月２６日（日）

受付・計量	８：１５～９：００
審判監督会議	９：１５
試合開始	９：３０
終了予定	１６：３０

４　会　　場　長崎県立総合体育館

５　参加制限及びチーム編成

（１）　引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員（学校教育法施行規則第７８条の２に示されている者。以下同じ）とする。地域クラブ活動においては責任ある代表者・指導者とする。

（２）　コーチを登録してもよい。ただし、当該校外の中学校教職員はコーチにはなれない。また、コーチは１校１名であり、複数の学校を兼務することはできない。

（３）　監督、コーチの服装は、審判員に準ずる。

（４）　長崎県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。また、地域クラブ活動のチーム・選手の指導者等は、中央競技団体の倫理規程等に基づいて、長崎県柔道協会等から処分を受けていない者であることとする。校長及び代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

（５）　団体戦　※　１年生または２年生に限る。

①　男子　各チーム１チームとする。監督１名、コーチ１名、選手は３名以上７名以内とする。チーム編成は、最も体重の重い選手を大将とし、以下体重順に編成する。４名または３名でチームを編成している場合は、大将からつめる。

②　女子　各チーム２チームまでとする。監督１名、コーチ１名、選手２名以上、４名以内とする。チーム編成は、最も体重の重い選手を大将とし、以下体重順に編成する。２名でチームを編成する場合は、大将からつめる。

③　男女ともに補欠選手と入れ替える場合も、体重順に編成する。また、一度退いた選手の再出場は認めない。

（６）　個人戦（男子８階級、女子８階級を設ける）

①　男子

・50kg 級（50kg 以下）	・55kg 級（50kg を超えて 55kg 以下）
・60kg 級（55kg を超えて 60kg 以下）	・66kg 級（60kg を超えて 66kg 以下）
・73kg 級（66kg を超えて 73kg 以下）	・81kg 級（73kg を超えて 81kg 以下）
・90kg 級（81kg を超えて 90kg 以下）	・90kg 超級（90kg を超える）

※　各階級１年生または２年生４名以内とする。

②　女子

・40kg 級（40kg 以下）	・44kg 級（40kg を超えて 44kg 以下）
・48kg 級（44kg を超えて 48kg 以下）	・52kg 級（48kg を超えて 52kg 以下）
・57kg 級（52kg を超えて 57kg 以下）	・63kg 級（57kg を超えて 63kg 以下）
・70kg 級（63kg を超えて 70kg 以下）	・70kg 超級（70kg を超える）

※　１年生または２年生で人数制限なし。

６　競技規則

（１）　国際柔道連盟試合審判規定(2025 年 4 月 1 日施行の新ルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。

（２）　柔道衣は白色とする。

（３）　（公財）講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

（４）　女子の有段者は、白線なしの黒帯を使用する。

７　競技方法

（１）　団体戦　トーナメント方式で行う。

（２）　個人戦　各階級ともにトーナメント方式で行う。　※　出場チーム数、選手数によっては変更することもある。

（３）　優劣の判定基準は次のとおりとする。

①　団体戦の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差（『指導』の差２以上）」とする。

ア　両者その内容に満たない場合は「引き分け」とする。優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」＞「技あり」＞「有効」＞「僅差」

イ　勝敗は次の方法によって決定する。

ａ　チーム間における勝ち数による。

ｂ　ａにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ｃ　ｂにおいて同等の場合は、１名による代表戦により決定する。

ウ　代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、３分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

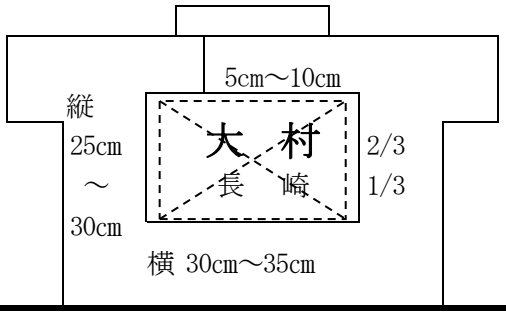
②　個人戦の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差２以上）」とする。得点差が無い場合は時間無制限の「延長戦（ゴールデンスコア）」により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で技あり以上、もしくは新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。

（４）　試合時間は、団体戦・個人戦ともに３分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

（5） 柔道衣の背部にゼッケンを縫い付ける。ゼッケンの規格は次のとおりとする。

【規格】

① 布地は、白色とする。
② サイズは、横30cm～35cm
縦25cm～30cm
③ 名字（姓） 上側2/3
学 校 名 下側1/3
④ 男子は黒色、女子は赤色で太く横書きで書く。
⑤ 縫い付けの場所は後襟から5cm～10cm下部の所で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



（7） 女子選手は柔道衣の下に白のＴシャツを着用する。Ｔシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成２５年４月１日より施行）に準ずる。
（8） 計量は、基本的に男子は下ばき（ズボン）のみ、女子はＴシャツと下ばき（ズボン）のみ着用で行う。個人戦計量において、登録した階級の制限体重を超える心配がある場合は、申告すれば、別室にて軽装での計量を許可する。できるだけ一回の計量で済むようにしておく。
（9） 服装については、審判員が初戦で確認し、不備があれば失格とする。ただし、試合中に破れたりした場合には大会本部で指示をするが、替えの柔道衣を準備するのが望ましい。
(10) 選手（団体戦の場合には選手全員）が試合場に現れなかった場合、場内放送でコールして30秒以内にその試合場の審判に申し出ない場合には失格とする。
(11) 申し込み提出後、選手の負傷等で選手登録変更を必要とするときには、当該校長印・代表者印付きの選手変更届を監督会議までに提出すること。個人戦の選手変更は認めない。
(12) （公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

8 表 彰

（1） 団体戦 優勝校に優勝旗を与える。第３位までに賞状を与える。
（2） 個人戦 各階級第３位までに賞状を与える。

9 参 加 費

（1） 団体戦 男女それぞれ１チーム 6,000円。（女子は複数チーム出場しても6,000円）
（2） 個人戦 １人800円。ただし、団体戦出場者は除く。
（3） 参加費に関しては、当日集金する。参加申込後の返金は行わない。

10 申し込み（修正液等は使用不可）

（1） 申込方法
① 別添の申込みExcelファイルに入力し、必ず、チーム名がわかるよう件名に記名し、下記に送信する。
② 入力したExcelファイルをプリントアウトし、校長印・代表者印を押したものを１部作成し、下記に郵送すること。
※ 特殊な漢字の氏名は、データには（ひらがな）で入力し、申込用紙に手書きで漢字を記入する。電話でも連絡すること。
※ メール送信ができない場合は、申込用紙のみ郵送し、メール送信をしていないことを電話で連絡すること。
※ 申し込みメールデータが必要な場合は、県中体連ホームページhttp://www.nagasaki-chutairen.jp//からダウンロードすること。個人戦申込において記入欄が不足する場合は、コピーして使うこと。

（2） 申込先

〒８５６－０８１２ 大村市桜馬場２丁目４８７番地１ 大村市立桜が原中学校 永 瀬 諒 宛
ＴＥＬ ０９５７－５５－１１６６ ＦＡＸ ０９５７－５５－１１６７
※必須！！① メールでデータ送信 liangyonglai37@gmail.com まで送信すること。
② 申込原本１部郵送（住所上記）

（3） 申込期限 **令和７年１０月１０日（金）必着**

11 そ の 他

（1） 欠場や当日計量によるオーダーの変更は、審判監督会議の中で知らせる。変更内容は、対戦表示にて示す。
（2） ごみは、必ず持ち帰ること。選手・監督・応援保護者は、マナーを守り、試合に臨むこと。
（3） 皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
（4） 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
① 大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
② 大会中、脳震盪を受傷した選手は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（至急専門医の精査を受診。）
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
④ 当該選手の監督は、柔道競技専門委員長(大村市立桜が原中学校 永瀬)に対し、書面により事故報告書を提出すること。